

C631-2



1200900564863

中南米諸國移植民法現

2. 「チルクアイ」共和國移植民法

(條約改正調査報告第17号12)

外務省臨時調査部

国立国会図書館

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

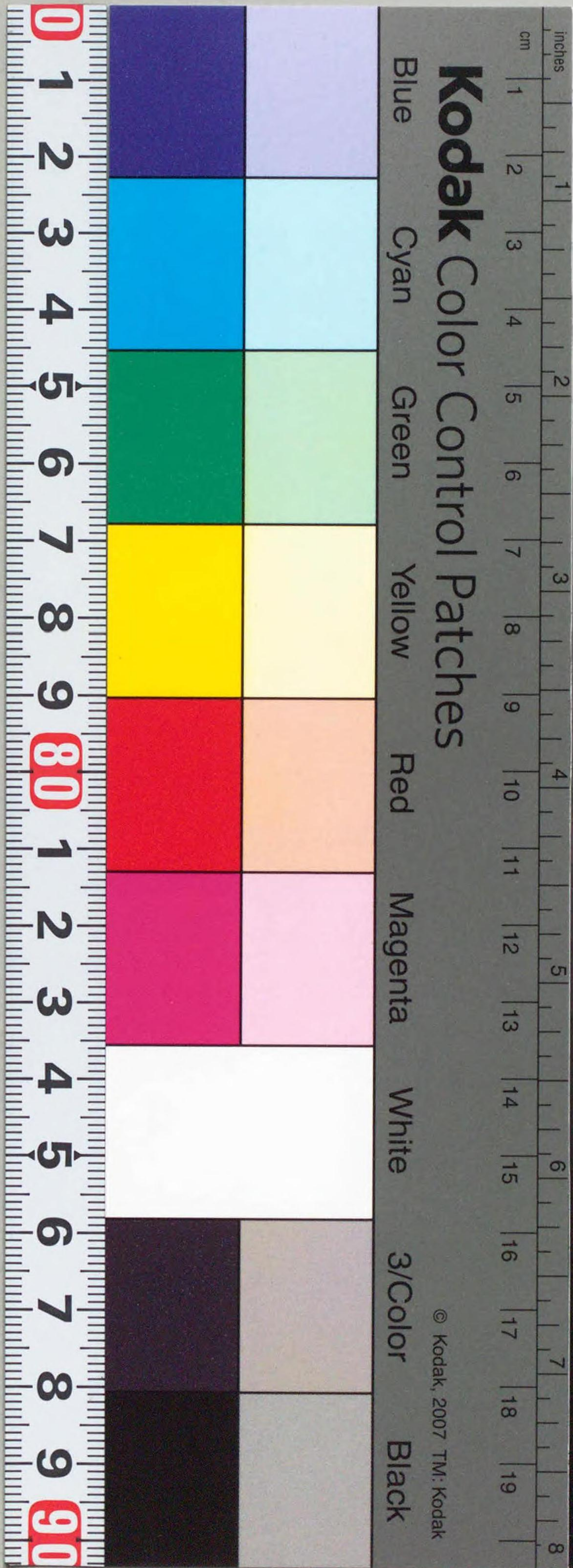
Magenta

White

3/Color

Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



三E47



大正十年八月(條約改正調査報告第十七號ノ二)

中南米諸國移植民法規

一、「ウルグアイ」共和國移民法令

外務省臨時調查部

貴族院
函
号
冊

貴族院
函
号
冊

「ウルグアイ」共和國移民ニ關スル法律及大統領令



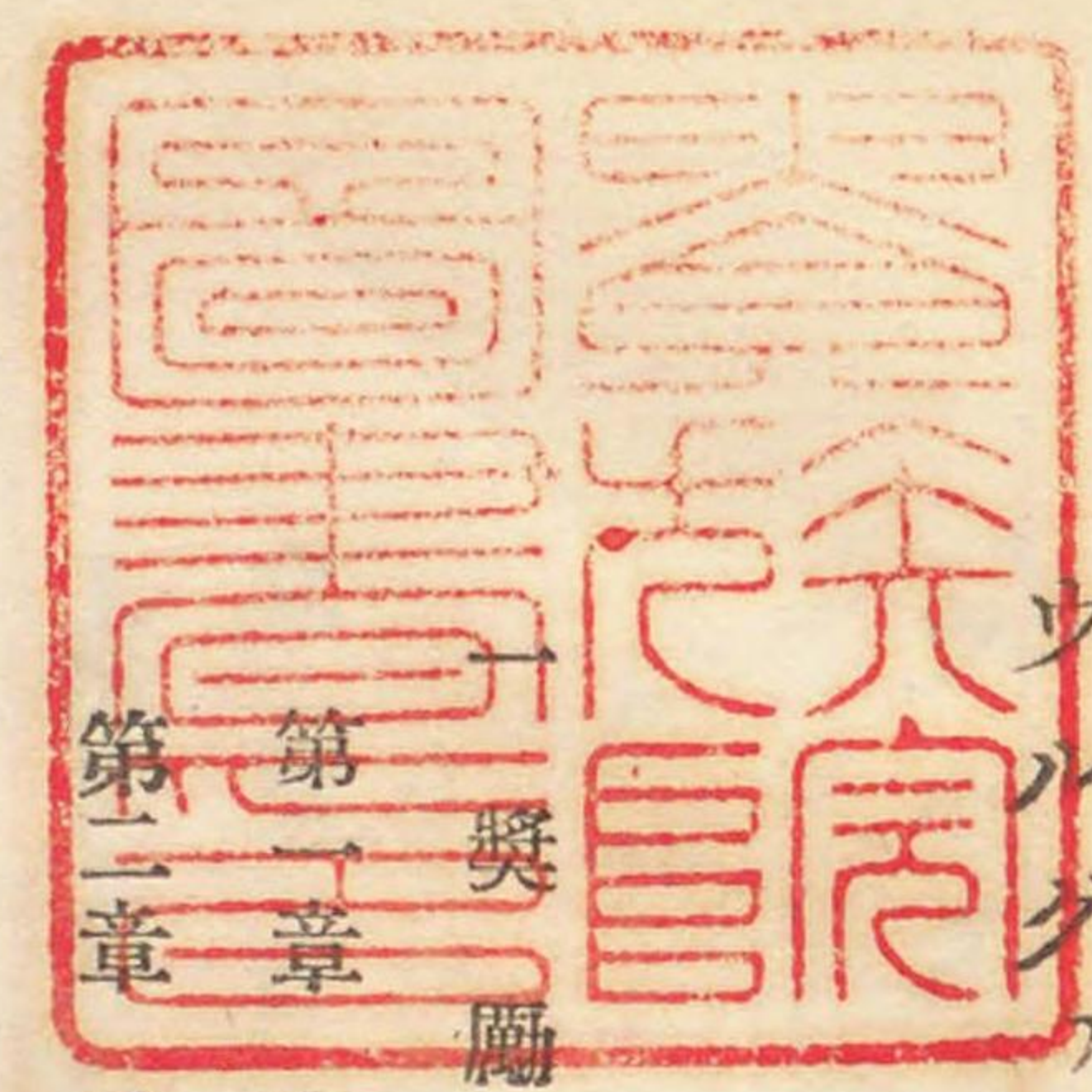
800787

「ウラグアイ」共和國移民ニ關スル法令



「ウラグアイ」共和國移民ニ關スル法令

目次



第一章	在外課報宣傳事務官	一
第二章	移民	三
第三章	移民旅費ノ前貸	五
第四章	移民輸送船及移民ノ臨檢	九
第五章	移民ノ上陸、宿泊及給養	一三
第六章	勞働及職業周旋所並移民ノ内地移送	一四
第七章	附則	一六
二	「リバーノ」ヨリ來ル「シリア」人ノ自由入國許可法	一九
三	十萬「ペン」ヲ移民ノ旅費前貸、其ノ内地移送並「ホテル」建設費ニ充當スル法律	二一
四	千九百十一年七月十二日法律施行細則	二三

五 移民ニ對スル前貸旅費及其ノ回收ノ新方法ニ關スル大統領令……………二七

六 移民獎勵法ニ關スル新規則……………二九

第二章 自由入國在留法……………一六

第三章 移民獎勵法……………一三

第四章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第五章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第六章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第七章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第八章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第九章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十一章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十二章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十三章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十四章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十五章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十六章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十七章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十八章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第十九章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十一章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十二章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十三章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十四章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十五章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十六章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十七章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十八章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第二十九章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十一章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十二章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十三章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十四章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十五章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

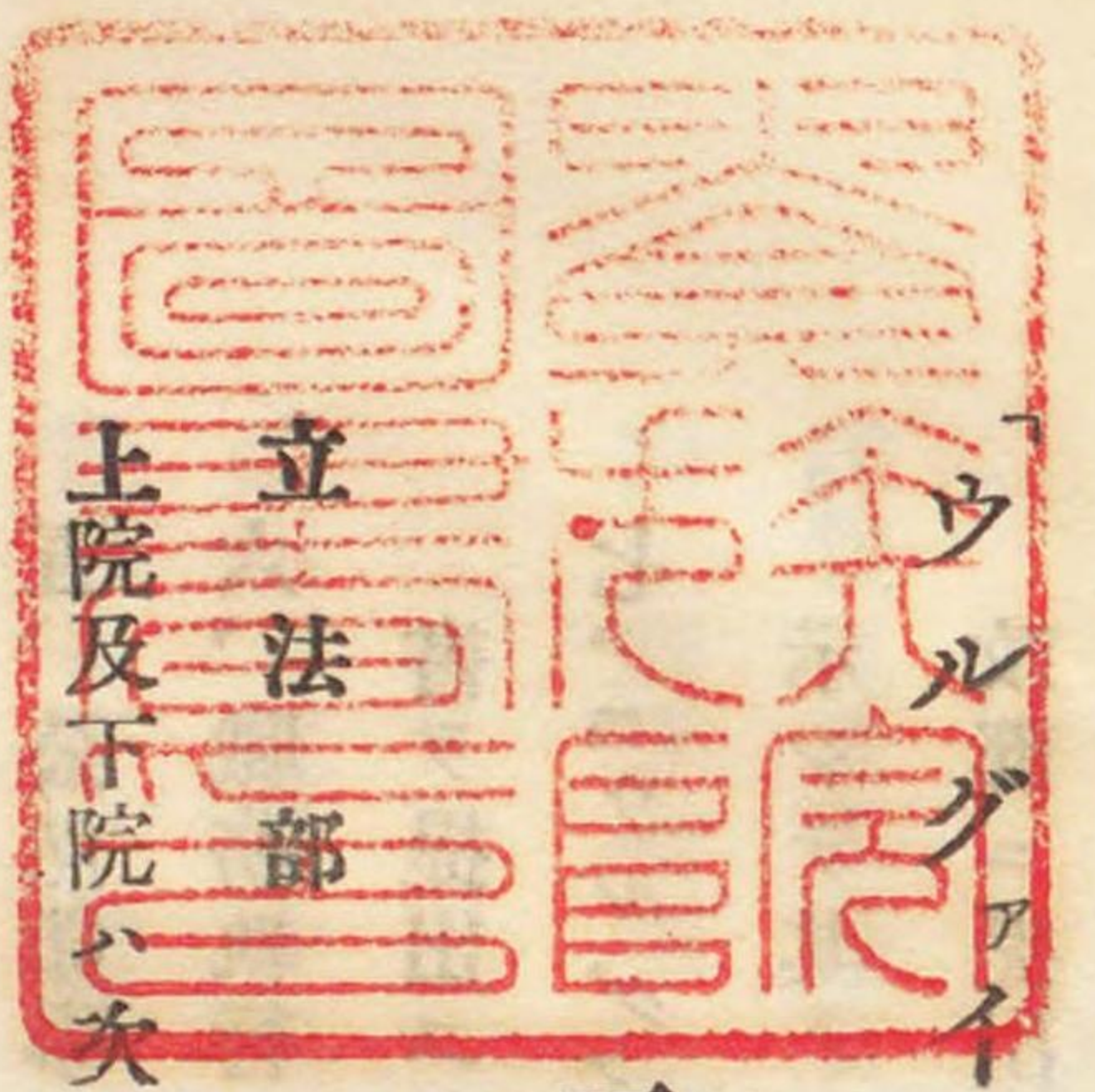
第三十六章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十七章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十八章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第三十九章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三

第四十章 移民獎勵法ニ關スル規則……………一三



共和國移民ニ關スル法律及大統領令

一、獎勵法

第一章 在外課報宣傳事務官

第一條

共和國領事官ハ其ノ管轄區域内ニ於テ當該公使ノ監督ノ下ニ、而シテ行政部ヨリ發スル訓令ニ從ヒ、本法ノ實施上課報宣傳事務官ヲ兼ヌルモノトス

第二條

課報宣傳事務官トシテ領事官ノ取扱フヘキ職務左ノ如シ

- 一、共和國ノ法制、統計及一般事情ニ關シテ移民、汽船會社代理人又ハ駐在地ノ他ノ有ラユル人
- 二、タヨリ請求スル總テノ報道ヲ供給スルコト

二、地理、經濟及社會上ノ状態、移民ニ提供セラルル一般の便益其ノ到着當初ニ於ケル輸送、上陸、宿泊及給養ニ對シテ保證セラルル特別ノ恩惠並國內ニ於ケル有利ナル職業ニ就クノ方法ヲ知ラシメ且移民國トシテノ信用ニ害アル誤謬ノ世論ヲ訂正シ以テ「ウルグアイ」河東共和國ヘノ移民招致ノ爲ニ斷エス宣傳スルコト

三、移民誘入ニ關シテ他國カ採用セル方法、植民制度ニ對シテ加フヘキ改良並共和國内ニ於テ有利ニ適用セラルヘキ農業上ノ進歩ヲ行政部ニ通信スルコト

四、共和國ヘ渡來セント欲スル各人ノ勞働能力及操行ノ善良ナルコトヲ證明シ又ハ前記目的ヲ以テ一地方ノ官憲カ發給セル證明書ヲ公認スルコト

五、公然領事官宛ニ送附セラルル旅費前拂切符ヲ直ニ使用セシムルコト

六、職務執行上要スル費用トシテ國家ヨリ領收スル金錢ニ關シテハ訓令ヲ以テ定メラレタル計算書ヲ提出スルコト

七、「ウルグアイ」共和國ニ渡航スル移民ノ數ヲ増加シ且其ノ品質ヲ改良スルニ適切ナル方法ヲ指示シテ其ノ駐在港ヨリ「ウルグアイ」河東共和國及其ノ他諸國ニ向フ移民動態ニ關スル年報ヲ行政部ニ提出スルコト

第三條

諜報宣傳事務官ハ本法カ課スル、又ハ將來共和國行政部又ハ公使カ本法ニ遵由シテ命令スル事務ニ對シ何等特種ノ報酬ヲ徵收シ又ハ受領スルコトヲ得ス、若違反スル時ハ其ノ職ヲ免ス

第四條

輸出入貿易少クシテ領事官ノ手數料收入額僅少ナル地點ニ關シテハ行政部ハ此等領事官ヲシテ諜報宣傳事務ヲ處理セシムル爲若ハ相當ノ俸給ヲ與ヘテ該事務ヲ專任官吏ニ委託スル爲之ニ支給スヘキ俸給ヲ議會ニ請求スヘシ
行政部ハ本條ニ於テ付與セラレタル權能ヲ行使シタル顛末ヲ毎年議會ニ報告シ以テ議會ニ於テ費用配附額ヲ繼續スルノ可否ヲ決シ若繼續ヲ要スト認メタル場合ニハ之ヲ歲出總豫算法中ニ組込ムノ資料タラシムヘシ

第五條

諜報宣傳事務ニ要スル他ノ費用モ亦總豫算法中ニ單一項目トシテ計上スヘシ

第二章 移民

第六條

本法實施上移民ト認ムルモノハ「ウルグアイ」河東共和國ニ住所ヲ定ムルノ意志ヲ以テ汽船又ハ帆船ニテ二等若ハ三等ノ乗船券ヲ携ヘ共和國ニ渡來スル正直ニシテ且勞働ニ堪ユル總テノ外國人トス

第七條

各移民ハ河東國領土ニ入ルニ當リ左記ノ恩惠ヲ享受スヘシ

- 一、使用裝身具、衣服、自家用家具、農業用機具並職業用道具及必要品ノ無稅搬入
 - 二、携帶手荷物ト共ニ無料上陸
 - 三、彼等ノ選擇スル勞働ニ適當ニ就業シ得ラルルヤウ無料周旋
- 旅費前借ノ移民ハ尙左記ノ權利ヲ有ス

- 一、其ノ到着後最初ノ八日間ノ無料宿泊及給養
 - 二、國內ニ於テ住所ヲ定メント欲スル地點迄總テノ携帶手荷物ト共ニ無料移送
- 最後ニ掲ケタル此等ノ恩惠ハ適當ト認ムル時ハ自費渡航移民ニ對シテモ行政部之ヲ付與スルコトヲ得

第八條

前條ノ規定ハ適用シ得ラルル限リ移民家族ノ全員ニ之ヲ及スモノトス

第九條

移民ハ其ノ乘船港ニ於ケル共和國領事官ノ無料發給セル證明書若ハ其ノ居住地ノ地方官憲カ發付セル證明書ニ適當ニ領事官ノ公認ヲ經タルモノヲ以テ其ノ操行善良ナルコト及勞働ニ適スルコトヲ立證スヘシ、而シテ此ノ領事公認モ亦無料トス

第十條

共和國ニ到着ノ際第七條ノ恩惠ヲ享受スルコトヲ欲セサル移民ハ船長又ハ上陸港ノ官憲ニ其ノ旨ヲ申出ツヘク該船長ハ航海日誌ニ其ノ旨ヲ記入スヘシ、而シテ該移民ハ兩者何レノ手續ニ依ルヲ問ハス單ニ旅客ト看倣サルヘシ、但シ次章ノ規定ニ從ヒ旅費ヲ前借シテ渡來スル移民ハ旅客トシテノ地位ヲ獲得スルコトヲ得ス

第三章 移民旅費ノ前貸

第十一條

國會ハ毎年歲出總豫算ヲ可決スルニ當リ共和國ニ定住センカ爲渡來スヘキ移民ニ對シ三等船賃ノ前貸ニ充ツヘキ額ヲ定ムヘシ

第十二條

前貸旅費ノ回收ハ移民到着ノ時ヨリ起算シテ二年半ノ期間ニ割賦償却金ノ二割及年六分ニ當ル利息トヲ六月拂トシテ之ヲ行フヘシ

第十三條

勞働ニ關係セルコト一般ニ認知セラレタル總テノ植民會社並國內ニ永住セル總テノ人ハ移民農務局ニ出頭シ同局ヨリ無料ニテ支給セラルル用紙ヲ以テ其ノ指名スル一人若ハ數人ニ對スル三等船賃ノ前借ヲ申請スルコトヲ得ヘク而シテ此等被指名人ハ第二十六條ノ要求條件ヲ具備スルコトヲ要ス移民農務局ハ豫メ必要ト認ムル調査ヲナシ前借申請ヲ許可若ハ拒否スヘシ

第十四條

前借許可ノ場合ニハ移民農務局ハ申請ノ目的ト成レル者ノ氏名ヲ記入シテ當該乘船券ヲ申請人ニ交付シ若ハ申請人ノ希望アルトキハ課報宣傳事務官ノ手ヲ經テ被申請人ニ送付スヘシ前記第一ノ場合ニ在リテハ申請人ハ乘船券受領前ニ第十二條ニ規定セル支拂條件ノ下ニ其ノ前借金額ニ對スル證書ヲ日附ヲ記入セスシテ差出スヘシ、而シテ第二ノ場合ニハ移民農務局ハ當該證書ヲ受領シタル後ニ非サレハ乘船券ヲ其ノ目的地ニ送付セサルモノトス

第十五條

前借乘船券ニハ之カ作成ノ日ヨリ起算シテ六月以内ニ限り旅行ヲ爲スノ權利ヲ與フル旨ヲ明記スヘシ
該乘船券カ其ノ日附ヨリ七月以内ニ「モンテヴィデオ」ニ於テ提示セラレサルトキハ申請人ハ之ヲ獲得スル爲差出シ置キタル證書ヲ撤回スルコトヲ得ヘシ

第十六條

移民輸送船舶到着ノ検査ヲナス際前借乘船券ヲ上陸検査官ニ提示シタルトキハ該検査官ハ之ニ「使用済」(Cumplido)ト記セル特別ノ検印ヲ捺スヘシ而シテ船内ニ移民ノ現存セルコト確認セラレ且右手續ヲ了シタルトキハ前記乘船券ハ汽船會社ニ依リ移民農務局ニ於テ其ノ金額ニ該當セル國立銀行宛一覽拂ノ小切手ト交換セラルヘシ

第十七條

前借旅費ニテ到着スル移民ハ到着後直ニ連帶債務者トシテ曩ニ申請人カ署名シタル證書ニ署名スヘシ而シテ該證書ハ未タ記入シアラサリシ日附ヲ記入シタル上國立銀行ヲ指圖人トシテ移民農務局長之ニ裏書シ旅費ニ相當スル金額ニ對シテ同銀行宛ニ振出シタル小切手ヲ支拂ニ充ツル爲之ヲ同銀行

ニ交付スヘシ

第十八條

若旅費ヲ前借セル移民カ特別ノ事由ニ因リテ曩ニ申請人ニ依リ署名セラレタル證書ニ署名セサルトキハ前條ノ規定ハ之ヲ該證書ニモ適用スヘク尙該移民ニ對シ相當ノ行動ヲ執ルコトヲ妨ケサルモノトス

第十九條

申請人若ハ移民カ支拂ハサリシ前借旅費ニ該當スル證書ノ滿期支拂ハ總テ之ヲ國立銀行ノ勘定ニ於テ國家ノ負擔トナスヘク而シテ移民農務局長ハ直接ノ債務者ニ對シ行動ヲ執ルコトヲ得

第二十條

旅費前借ニ關スル一切ノ手續ハ無料トシ且適宜ノ用紙ヲ使用スヘク尙回收用ノ證書ニハ印紙ノ貼附ヲ免除ス

第二十一條

植民會社ニ對シ旅費前借ヲ許可スル場合ニハ行政部ハ該旅費ヲ使用スル者ヲ一々指名スルコト及本法第十四條及第十七條ニ定ムル要件ヲ免除スルコトヲ得

仍テ此ノ場合ニハ回收用ノ證書ハ唯植民會社之ニ署名スルノミニテ足ル

第二十二條

行政部ハ第十一條ニ定ムル金額ノ範圍内ニ於テ本章ノ規定ヲ有效ニ實施スル爲必要ナル契約ヲ毎年國立銀行及汽船會社ト締結スルコトヲ得

第四章 移民輸送船及移民ノ臨檢

第二十三條

移民輸送船ハ河東共和國諸港ニ於テ法律及關係規則カ外國ヨリ來ル汽船ニ現ニ許容シ若ハ將來許容スヘキ最大限度ノ免除及寬裕ナル取扱ヲ受クヘシ而シテ行政部ハ本法ノ施行細則ヲ制定スルニ當リ該免除ヲ受クルコトヲ得ヘキ移民ノ數ヲ定ムルコトヲ要ス

第二十四條

前條規定ノ報酬トシテ河東共和國諸港ヲ目的トスル移民ハ船中ニテ「ラ・プラタ」河ノ他ノ諸港ニ向フヘキ移民ニ對シ與ヘラルル同一狀態ノ衛生的宿泊、給養及待遇ヲ受クヘキモノトス

第二十五條

前條ニ違反スルトキハ該違反船カ享受シタル一切ノ免除及寬裕ナル取扱ハ之ヲ撤廢スヘシ

第二十六條

移民輸送船船長ハ左ニ列記セル者ヲ移民トシテ又ハ二等若ハ三等切符ニテ共和國ニ向ケ乗船セシムルコトヲ得ス

一、傳染病患者

二、乞 食

三、器官ノ故障又ハ肉體上ノ缺陷ニ依リ絶對的ニ勞働不能ノ者

四、六十歳以上ノ者

但シ第三及第四ノ除外ニ關シテハ少クトモ勞働可能者四名ヨリ成ル移民ノ家族員タル勞働不能者若ハ年齢六十歳ノ者ヲ乗船セシムルコトヲ船長ニ對シテ之ヲ許可ス

第二十七條

共和國内ニ於テハ亞細亞及阿弗利加移民並普通「シンガロス」(Zingaros)若ハ「ボエミオス」(Bohemios)ノ名稱ヲ以テ知ラレタル移民モ等シク之ヲ禁止ス

(譯註 「シンガロス」及「ボエミオス」ハ共ニ浮浪生活ヲ送ル徒ナリ)

第二十八條

前記二條ニ違反スルトキハ不正乗船者一名毎ニ百「ペソ」ノ罰金ニ處セラルヘク尙船長ニ該不正乗船者ヲ送還スルノ義務ヲ負ハシムルコトヲ得

第二十九條

移民輸送船及外國ヨリ來ル一般郵便船ノ船長ハ總テ船内ノ見易キ場所ニ本法ノ條文ヲ數箇國語ニテ認メタル額面ヲ掲クルノ義務ヲ有ス而シテ該額面ハ移民農務局ヨリ海事局(現今ハ之ヲ港務總局ノ任務トセリ)ヲ經テ無料ニテ支給セラルルモノトス
若之ヲ爲スヲ抗拒シタルトキハ該抗拒ハ第二十五條ノ場合ニ於ケルト同シク其ノ指揮セル船舶ニ許容セラレタル寛裕ナル取扱及免除ヲ撤退スルノ理由トナルヘシ

第三十條

外國ヨリ來ル船舶カ共和國ノ一港ニ向ヘル移民ヲ輸送スル場合ニハ船長ハ到着ニ際シ特別ノ旗ヲ掲揚シテ之ヲ通報スヘシ而シテ此ノ場合ニハ普通ノ臨船ヲ行フ官吏ノ外尙農務局ノ吏員一名ヲ増派スヘク此ノ吏員ハ「移民ノ臨檢」ヲ行フノ任務ヲ有スルモノニシテ其ノ職務執行上之ヲ上陸検査官ト稱スヘシ

第三十一條

移民農務局ハ行政部ノ認可ヲ經テ左記ノ基礎條項ニ準據シテ「移民ノ臨檢」ニ關スル特別細則ヲ定ム

ヘシ

- 一、移民ノ臨檢ノ繼續中ハ港内ノ運輸ニ從事セル船舟ハ總テ該臨檢船ト交通スルコトヲ得ス
- 二、上陸検査官ハ共和國領土ニ輸送スル移民全體ノ人名表ヲ船長ヨリ提出セシムヘク而シテ該表ニハ移民ノ氏名、年齢、男女ノ別、配偶者ノ有無、郷國、宗教、職業、文字ヲ讀ミ且書キ得ルヤ否及乗船地點ヲ明記スルヲ要ス、尙同時ニ旅費前借ニテ渡來セル移民ノ特別人名表及當該乗船券ヲモ請求スヘク此等乗船券ハ之ニ該當スル各人ノ條件及履歷ニ關シ何等ノ嫌疑ナキトキハ「使用済」ノ捺印ヲ施シテ直ニ之ヲ船長ニ返付スヘシ
- 三、上陸検査官ハ航海中第二十四條及第二十五條ノ規定ノ履行セラレシヤ否ヲ確知スル爲必要ナル報告ヲ請求シ尙第二十六條及第二十七條ノ履行ヲ保證スル爲自ラ移民ヲ検査スヘシ而シテ目撃検査若ハ書類ノ文言ニ依リ本法ニ違反シテ乗船セルコト判明セル總テノ移民ヲ船内ニ留置スルコトヲ命スヘシ

四、前各項ニ詳記セル一切ノ調査ハ之ヲ「検査臨檢簿」ト稱スル簿冊ニ記入シ其ノ記入シタル始末前書ハ上陸検査官、海事局員、檢疫醫及船長之ニ署名ス

五、検査臨船ニ關シテハ海事局(現今ノ港務總局)ノ上級及下級吏員ハ萬事上陸検査官ノ命令ニ服スヘシ

六、若検査臨船ノ結果本法ニ照ラシ船長ノ處罰セラレヘキ行爲明瞭トナリタルトキハ移民農務局ハ一應事件ヲ調査シタル上第二十八條ニ定ムル罰金ヲ適用スルカ若ハ第二十五條及第二十九條ニ記セル罰則ノ適用ヲ行政部ニ申請スヘシ而シテ前者ノ場合ニハ被處罰者ハ罰金ノ額ヲ供託シタル後行政部ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ後者ノ場合ニハ行政部ノ決定ニ對シ何等異議ヲ申立ツルノ餘地ナキモノトス

七、特別細則ハ各條項ノ履行ヲ確保スル爲五「ペソ」以上百「ペソ」迄ノ罰金ヲ科スルコトヲ得ヘク該細則ヲ以テ此等罰金ヲ適用及徴收スルノ方法ヲ定ムヘシ

八、特別細則ハ該細則ヲ以テ定ムル事務ノ實效ヲ舉クルト共ニ外國ヨリ來ル船舶カ「モンテヴィデオ」ニ寄港スルニ當リテ必須トスル荷役ノ迅速ヲ期スル爲兩者ノ調和ヲ計ルヘシ

第五章 移民ノ上陸、宿泊及給養

第三十二條

上陸検査官ハ本法ノ特典ヲ明白ニ拒絕セサル移民ノ官ノ取扱ニ依ル無料ノ上陸ヲ自ラ指揮シ移民ノ

上陸ニ對シテハ總テノ便益ヲ計リ手荷物ノ陸揚ニ對シテハ適當ナル秩序ヲ以テ之ヲ行ハシムルコトヲ期スヘシ

第三十三條

尙上陸検査官ハ移民カ移民「ホテル」(現今ハ「移民宿泊所」ト稱ス)ニ到達シテ各自ノ手荷物ヲ受領スル迄之ト同道スヘク而シテ此ノ時迄ハ移民ノ爲ニ盡シタル勞務ニ對シテ何人モ移民ヨリ謝儀若ハ報償ヲ要求又ハ請求セサルヤウ注意スヘシ

第三十四條

前條後段ノ規定ニ違反スル者ハ事件ノ輕重ニ依リ五「ペソ」ヨリ五十「ペソ」迄ノ罰金ヲ上陸検査官ヨリ科セラルヘシ

第三十五條

移民カ旅行中若ハ移民「ホテル」滞在中重病ニ罹リタル場合ニハ宿泊、給養及其ノ病氣ニ相應セル施設物内ニ於ケル醫療手當ハ假令其ノ許與セラレタル期限ヲ經過スルモ常ニ國家ノ負擔タルヘシ

第六章

勞働及職業周旋所並移民ノ内地移送

第三十六條

移民農務局ハ本法ノ庇護ヲ受クル移民ノ奉仕ヲ以テ國內産業ノ勞力不足ヲ供給スル爲ニ勞働周旋所タルヘキモノトス

第三十七條

從テ左記ノ事項ハ移民農務局之ヲ管掌ス

- 一、職工、農夫若ハ日傭勞働者ヲ要スル旨申出アリタルトキハ之ヲ登録スルコト
- 二、該要求ヲ充タシ得ル移民ヲ有利ニ就職セシムルヤウ注意シテ此等ノ要求ニ應スルコトニ注意ス
- 三、若移民カ申請スルトキハ其ノ締結セントスル契約ニ干與シ且雇主側ヲシテ之ヲ履行セシムルヤウ監視スルコト
- 四、其ノ日附、勞働ノ種類、契約條件並之ニ干與シタル者ノ氏名ヲ明示シテ其ノ就職取扱數ヲ特別登録簿ニ記入スルコト

第三十八條

移民農務局ハ如何ナル場合ニ於テモ雇主及移民ノ爲ニ盡シタル勞務ニ對シテ手数料又ハ謝儀ヲ受クルコトヲ得ス

第三十九條

若新渡來移民就職ノ爲ニ之ヲ「モンテヴィデオ」ヨリ共和國ノ他ノ地點ニ移送スルノ必要アルトキハ該移送ハ國家ノ費用ヲ以テ之ヲ行フヘク而シテ此ノ事情ハ之ヲ當該登録簿ニ記入スヘシ
移民農務局ハ此ノ事務ヲ適當ニ組織スル爲陸路及河川輸送會社ト二年ヲ超エサル契約ヲ締結スヘシ但シ該契約ハ之ヲ實施シ且有效ト認ムル前ニ之ヲ行政部ニ提出シテ其ノ認可ヲ經ヘキモノトス

第七章 附 則

第四十條

行政部ハ本法ヲ佛蘭西語、伊太利語、英吉利語、獨逸語及瑞典語ニ翻譯スルコトヲ命スヘク且之ヲ西班牙語及前記諸國語ニテ印刷セシムヘシ此ノ印刷ハ其ノ各一部ヲ船中、鐵道停車場並謀報宣傳事務所ノ見易キ場所ニ額トシテ掲ケ得ラルルヤウニ之ヲ行フヘク尙此等印刷物カ共和國ノ内外ニ最弘ク流布セラルルヤウ注意スヘシ

第四十一條

本法ノ細則タルヘキ布告ニ於テ行政部ハ第九條、第二十五條、第二十八條、第二十九條及第三十條ノ規定ヲ實施シ始ムヘキ時期ヲ定ムヘシ

第四十二條

本法公布ノ日ヨリ移民農務局及總テ移民並農業及勞働周旋ニ關スル事項ハ内務省之ヲ監督スヘシ

第四十三條

國會ノ通常議會開カレタルトキハ行政部ハ直ニ本法ノ實施ニ依リテ得タル成績ニ關スル特別報告ヲ毎年提出スヘシ

第四十四條

本法ヲ達示シ及公布スヘシ

千八百九十年六月十日「モンテヴィデオ」ニ於ケル國會會議室ニ於テ

議 長 アグスティン・デ・カストロ

上院一等書記官 フランシスコ・アギラル・イ・レアル

下院一等書記官 サンティアゴ・マシエル

受領ノ旨ヲ通知シ新ニ印刷ニ付シ且國事登録簿ニ之ヲ挿入スヘシ

千八百九十年六月十八日「モンテヴィデオ」ニ於テ

本法ヲ達示シ及公布スヘシ

本法ヲ達示シ及公布スヘシ

千九百十一年七月七日「モンテヴィデオ」ニ於ケル上院會議室ニ於テ

長 フェリシアノ・ヴィエラ

之ヲ履行シ領收人旨ヲ通知シ之ヲ公布シ本省ノ法律登録簿ニ挿入シ且其ノ的確ナル謄本ヲ添附シテ

原文ヲ内務省ニ送付スヘシ

千九百十一年七月十二日「モンテヴィデオ」ニ於テ

原文ヲ内務省ニ送付スヘシ

千九百十一年七月十二日「モンテヴィデオ」ニ於テ

千九百十一年七月十二日「モンテヴィデオ」ニ於テ

千九百十一年七月十二日「モンテヴィデオ」ニ於テ

（産業長官 副署）

四、千九百十一年七月十二日法律施行細則

共和國大統領ハ千九百十一年七月十二日ノ法律ノ細則トシテ次ノ如ク布告ス

外國ニ在ル労働者ヲ呼寄スル必要アル者ハ普通用紙ニ認メタル書面ヲ移民宿泊局ニ差出シテ之ヲ出

願スヘク此ノ願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

イ、労働者ノ數及國籍

ロ、労働者ヲシテ從事セシムヘキ労働ノ種類

ハ、報酬、日傭賃銀、給料若ハ組合員トシテノ得分

本ニ、支拂ノ條件及形式

該請願書中ニハ國家カ移民ニ前貸スル旅費金額ニ對シ出願者自ラ連帶保證人トナル旨ヲ記載スルカ

若ハ別ニ保證人ヲ立ツヘク而シテ該保證人モ亦該請願書ニ署名スヘシ

移民宿泊局長ハ前條ニ記載セル諸點及出願者ノ無形及有形ノ責任ニ關シテ得タル有ラユル材料ヲ含

第 二 條

第 二 條

第 二 條

メル報告書ヲ添附シテ該願書ヲ産業省ニ申達スヘシ

若許可ノ詮議アリタルトキハ移民宿泊局長ハ移民ヲ乗船セシムヘキ汽船會社ヲ指示シテ移民ノ注文

ヲ當該領事館宛ニ發スヘシ

第三條

本法ニ依リ移民獎勵ニ充テラレタル十萬「ペソ」ノ内移民ノ旅費前貸及國內移送費用トシテ一萬「ペソ」ノ額ヲ産業省ヲ受取人トシテ共和國銀行ニ當座預金トシテ預入ルヘシ

第四條

國家ニ對スル返納ハ貸與金額ニ對スル二割ツツノ月賦償却法ニ依リテ之ヲ實行スヘク該月賦償却金ハ出願者若ハ保證人ヨリ各月ノ終了ニ次ク五日以内ニ共和國銀行ニ之ヲ供託スヘシ而シテ此ノ金額ハ政府ノ當座預金ニ繰入ルヘシ移民宿泊局ニハ一ノ簿冊ヲ備ヘ置キ之ニ詮議ノ日附、出願者及保證人ノ氏名並住所、移民ノ員數、到着日、旅費金額及割賦償却日ヲ記入スヘシ
移民宿泊局長ハ移民及資金ノ移動ヲ毎月産業省ニ報告スヘシ

第五條

割賦償却金ヲ相違ナク期日ニ納付スルコトヲ履行セサルトキハ現行法規ニ從ヒ強制執行ヲ爲スヘシ

(此ノ場合ニ於ケル強制執行ハ移民宿泊局長之ヲ追求スヘシ)

第六條

之ヲ達示シ公布シ且當該記録簿ニ挿入スヘシ

千九百十二年三月二日「モンテヴィデオ」ニ於テ

バットリエー・イ・オールドーニエス(大統領 手署)

エドゥアルド・アセヴェード (産業長官 副署)

五、移民ニ對スル前貸旅費及其ノ回收ノ新方法ニ關スル
大統領令

移民獎勵ニ關スル千八百九十一年六月十八日ノ法律第十二條ノ規定ニ基キ共和國大統領ハ次ノ如ク
布告ス

第一條

千九百十二年三月二日ノ大統領令第四條ニ規定セル前貸旅費ノ回收ハ移民到着ノ日ヨリ起算シテ貸
與金全額ノ二割ツツヲ六月賦トシテ二年半以内ニ之ヲ行フヘシ而シテ該割賦金額ハ前記千九百十二
年三月二日ノ大統領令第四條ニ規定セル形式ニ依リ出願者若ハ保證人之ヲ供託スヘシ

第二條

之ヲ達示シ公布シ且當該記録簿ニ挿入スヘシ
千九百十三年二月二十二日「モンテヴィデオ」ニ於テ

パットリエー・イ・オールドーニエス(大統領 手署)

エドゥアルド・アセヴェード (産業長官 副署)

（産業員官 編纂）
（大蔵閣 手巻）

千八百九十三年二月二十二日

大蔵閣令

第一條

千八百九十三年二月二十二日

大蔵閣令

千八百九十三年二月二十二日

第二條

布告ス

千八百九十一年六月十八日

大蔵閣令

正 務 司 二 權 ス

六、移民獎勵法ニ關スル新規則

共和國大統領ハ千八百九十一年六月十八日ノ移民法ノ細則タル千八百九十四年十二月十日ノ大統領令ハ其ノ實施上海上輸送諸會社ニ依リ種々濫用セラレ爲ニ現行諸法規ノ嚴格ナル履行ヲ困難ナラシムルコト及其ノ濫用ハ細則タル該大統領令ニ何等ノ明文ナキヲ口實トシテ同法第九條、第二十五條、第二十八條、第二十九條及第三十條ニ規定セル罰則ヲ無視シタルニ依ルコト多キヲ考慮シ次ノ如ク布告ス

第一條

千八百九十四年十二月十日ノ大統領令ハ之ヲ廢止ス

第二條

千八百九十年六月十二日ノ法律第九條、第二十五條、第二十八條、第二十九條及第三十條ハ同法第四十一條ノ規定ニ從ヒ其ノ效力ヲ有スルコトヲ宣言ス

第三條

拒絕スヘキ移民左ノ如シ

癩病、「トラホーム」、顯著ナル結核病患者

ロ、有ラユル程度ノ發狂者

四ハ、乞食

キ、器官ノ故障又ハ肉體上ノ缺陷ニ依リ勞働ニ堪ヘサル者

ホ、「シンガロ」人(譯註、英米人ノ所謂「ツプシー」ナリ)

キ、移民官憲ノ判斷ニ依リ其ノ拒絕ヲ適當ト認ムル亞細亞人及阿弗利加人

ト、移民獎勵法ニ違反シテ乗船シタルニ非サルコトヲ立證スヘキ旅券若ハ書類ヲ所有セサル者此

等立證書類ハ移民獎勵法第九條ニ謂フ所ノ證明書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

チ、六十歳以上ノ者

リ、巡行的ニ若ハ一時的裝置ヲ以テ或ル職業、技術若ハ産業ヲ營ム者ニシテ其ノ營業力住民ノ爲

ニ有害ナルカ若ハ衛生不行届ナル爲移民局ノ意見ニ依リ之ヲ拒絕スルヲ適當ト思考スル者

移民局ハ共和國內ノ何レカノ地點ニ此等巡行者ノ存在セルコトヲ知りタルトキハ同局ヲ定ムル深慮

的期間内ニ彼等ヲシテ國外ニ離退セシムル爲當該縣警察ノ援助ヲ求ムルコトヲ要ス

第四條

年齢六十臺ノ者ト雖モ左ニ掲クル者ハ之ヲ入國セシムヘシ

イ、一家族ノ戸主トシテ家族同伴ニテ渡來スルトキ、但シ此ノ場合ニハ上陸検査官カ其ノ效力ヲ

認定スヘキ書類ヲ以テ自己ノ資格ヲ辯明スルコトヲ要ス人

ロ、家族ヲ同伴シ來ラサルモ其ノ上陸ニ先チ當共和國內ニ其ノ世話及給養ノ任ニ當ルヘキ而モ之

カ爲充分ナル資力アル親戚ヲ有スルコトヲ辯明シタルトキ

第五條

年齢六十臺ノ者ノ入國ヲ律スル此等ノ規定ハ盲目移民ノ到着スル場合ニモ之ヲ適用ス

第六條

上陸検査官ハ海事検査醫ト共ニ移民ヲ臨檢スヘク該醫員ハ一應取調ヘタル後第三條ノ「イ」項ニ定ム

ル病氣ノ何レカニ罹レルカ若ハ器官ノ故障又ハ肉體上ノ缺陷ニ依リ上陸スルコト能ハサル移民ノ誰

レ誰レナルカラ決定スルノ任ニ當ルモノトス

第七條

上陸検査官ハ適當ト認ムル場合ニハ亞爾然丁共和國若ハ「バラグアイ」國ヨリ來レル移民検査ノ爲ニ

臨檢醫一名ノ來船ヲ海事検査所ニ請求スヘシ

第八條

醫員カ診斷ヲ爲ス能ハスシテ實地ニ行ヒタル取調ノ結果或ル移民カ拒絕スヘキモノトシテ分類セラレタル疾病ノ一ニ罹レル嫌疑アルトキハ斷定的診斷ノ下サルル迄之ヲ病院ニ隔離スル爲該嫌疑者ヲ「條件附ニテ上陸」セシムルコトヲ得而シテ之カ爲作成セラルル始末書中ニハ若該嫌疑移民カ拒絕スヘキモノトシテ分類セラレタル疫病ノ一ニ罹レルコト判然シタル場合ニハ當港(譯註「モンテグイデオ」港)ニ寄港スル當該汽船會社ノ第一船ニ依リ乗船港ニ送還スルコトヲ要スヘキ旨ヲ記入スヘシ該始末書ハ檢疫醫、上陸検査官、港務局副長、船長及代理店ノ代表者之ニ署名スヘシ

第九條

船内ノ有司ハ船客ノ完全ナル名簿ヲ上陸検査官ニ交付スヘシ

第十條

上陸検査官ハ疑ハシキ者ヲ自ら取調ヘ若拒絕スヘキモノトシテ分類セラレタル中ニ含マルル者ナルコト判然シタル場合ニハ其ノ上陸ヲ禁シ船内有司ニ對シテ本人ヲ送還スヘキ義務ヲ負ハシメ且此等ノ者各一名ニ付金貨百「ペソ」ノ罰金ヲ科スヘシ

第十一條

拒絕スヘキ疾病ノ場合ニハ乗船ニ際シ適當ナル醫學上ノ検査ニ依リ該疾病ヲ確認スルコト可能ナリシ旨ヲ検査ニ干與セル檢疫醫カ書面ヲ以テ言明スルトキニ限り罰金ヲ科スルコトヲ得

第十二條

違反船出帆ノ時刻ニハ上陸検査官ハ拒絕セラレタル船客カ現ニ船内ニ在ルヤ否ヲ確ムル爲第二回ノ臨檢ヲ行フヘシ若同船客カ移民局ノ許可ナクシテ上陸セル場合ニハ此等船客各一名ニ付金貨百「ペソ」ノ罰金ヲ科セラルヘシ

第十三條

若移民數カ船客名簿ニ記入セラレタルモノヨリ少キトキハ船長ハ其ノ人員不足ノ理由ヲ辯明スルノ義務ヲ有スルモノトス而シテ該辯明カ不充分ナルカ若ハ辯明スルコトヲ拒ミタル場合ニハ不在者各一名ニ付金貨百「ペソ」ノ罰金ヲ科セラルヘシ

第十四條

上陸検査官ノ認知ナクシテ上陸セル移民一名毎ニ該輸送船ノ船長ハ此ノ形式ヲ以テ上陸シタル移民各一名ニ付金貨百「ペソ」ノ罰金ヲ科セラルヘク尙此等上陸移民ハ之ヲ留置スルコトヲ妨ケス

第十五條

第九條、第十條、第十一條、第十二條及第十三條ニ規定セル罰金ハ書面ヲ以テ告知ヲ爲シタルトキ直ニ違反船長ヨリ之ヲ納付スヘキモノトス若之ヲ抗拒スル場合ニハ移民局ハ文書ヲ以テ港務總局ニ對シ其ノ科セラレタル罰金ヲ納入スル迄該船ノ出帆ヲ拒止スルヤウ請求スヘシ

第十六條

移民獎勵法及本令ノ一般的规定遵奉ノ爲設定セル秩序及制度ヲ攪亂スル者ハ次ノ如キ形式ニ依リ處罰セラルヘシ即チ若其ノ違反カ臨檢船ノ船長若ハ乗組員中ヨリ起レルトキハ罰金ハ事件ノ輕重ニ依リ金貨五十「ペソ」以上百「ペソ」以下タルヘシ若其ノ違反カ港内ヲ往來スル船舶ノ持主若ハ水夫ニ依リ爲サレタルトキハ罰金ハ事件ノ輕重ニ依リ金貨三十「ペソ」以上五十「ペソ」以下タルヘシ若其ノ違反カ船客若ハ其ノ他ノ私人ニ依リテ行ハレタルトキハ罰金ハ金貨二十「ペソ」タルヘシ
船長若ハ乗組員ニ對スル罰金ノ適用ニ關スルトキハ抗拒ノ場合ニ於テ前條ノ規定ヲ適用ス若港内ヲ往來スル船舶ノ持主若ハ水夫又ハ私人ニ關スルトキハ抗拒ノ場合ニハ罰金ニ該當スヘキ禁錮ニ處セラルヘシ

第十七條

船内有司ハ上陸検査官ニ對シ其ノ職務遂行ニ便ナラシムル爲船舶全般ニ互ル検査ヲ許容スルノ義務

ヲ有ス

第十八條

總テ移民局ヨリ罰金ヲ科スル場合ニハ此等被罰者ハ豫メ其ノ罰金額ヲ納入シタル後行政部ニ對シ異議ノ申立ヲナスコトヲ得ヘシト雖モ此ノ行政部ノ判定ヲ以テ事件ノ最終トス、異議ノ申立ヲナスヘキ期間ハ罰金供託ノ日ヨリ起算シテ五日間トス

第十九條

海事局及警察ハ其ノ職務ノ遂行ニ關スル上陸検査部ノ命令ニ應シ且之ヲ履行スヘシ税關監視部ハ出來得ル限りノ範圍ニ於テ移民ノ手荷物ニ對スル検査ヲ速ナラシムル爲援助ヲ與フヘシ

第二十條

上陸検査部ハ臨檢中ニ起リタル事項ヲ詳述シテ各船毎ニ箇別ニ其ノ臨檢ノ顛末ヲ一ノ簿冊中ニ日日記入スヘシ

第二十一條

當國ニ移住セント欲スルモ拒絶セラルヘキ移民ノ部類中ニ合マルル者ヨリ提示スル各種ノ證明書、旅券若ハ之ニ類似セル其ノ他ノ書類ヲ查證若ハ公認スルコトヲ絕對ニ差控ヘシメンカ爲臨檢ノ命令

池E47

ヲ外務省ヲ經由シテ外國駐在領事ニ通達スヘシ

第二十二條

之ヲ達示シ公布シ且當該登錄簿ニ挿入スヘシ

千九百十五年二月十八日「モンテヴィデオ」ニ於テ

バットリエー・イ・オルドーニエス(大統領 手署)

フステイーノ・ヒメネス・デアレーチャガ(産業長官 副署)

フュリシアノ・ヴィエーラ(内務長官 副署)

バルタサル・ブルム(外務長官 副署)

ペドロ・コシオ(大藏長官 副署)

ファン・ベルナッサ・イ・ヘレス(陸海軍長官 副署)

